

申請書及び推薦書は、原本を含めて6部提出すること。  
申請書、推薦書及び別刷りの左側には約25mmの「とじしろ」を設けること。

平成 年度 北海道大学医学部同窓会フラテ研究奨励賞申請書

研究課題

(ふりがな)  
氏 名

生年月日【和暦で記載】

卒業大学・学部名、卒業年月【和暦で記載】

所属大学・部局等（又は勤務先）

連絡先電話番号、E-Mail

自宅住所、電話番号

略歴【大学卒業年月、卒業以後の経歴、職歴等参考となる事項を和暦で記載】

賞罰【和暦で記載】

1. 研究目的【400字以内】

2. 研究経過・研究結果【2,000字以内】

3. 発表業績 ※申請書作成の際に【発表業績記載方法等】1～8は削除してください。

【発表業績記載方法等】

1. 発表年順に著者名、論文題名、掲載誌名、巻・号・頁（初頁と終頁）、年を記載し、邦文、欧文別に通し番号を付す。

2. 申請者は太字とし下線を付す。また、責任著者（corresponding author）には名前の左にアスタリスク（\*）を付す。

例：Masuda, Y., Takahashi, H. and \*Hatakeyama, S.: TRIM29 regulates the p63-mediated pathway in cervical cancer cells, *Biochim. Biophys. Acta-Mol. Cell Res.*, 1853, 2296-2305, 2015. (5年 I F = 6.005、補正 I F = 4.003)

3. この内主要なもの5編の番号に○印を付し、その別刷りを各6部添付する（コピー可）。

4. 記載した欧文原著論文ごとに発行年の右欄に括弧書きで5年インパクトファクター（5年 I F）の数値を記入する（5年 I Fがまだない場合は、通常の I Fを用いる）。

5. 5年 I F（若しくは I F）は、最新版の数値を記入する。

6. 英文業績論文の最下段に、論文数、合計5年 I F、平均5年 I F、補正合計5年 I Fの集計値を記入する。

例：（論文数20報、合計5年 I F = 61.461、平均5年 I F = 4.727、補正合計5年 I F = 43.665）

7. 補正5年 I F値の計算方法（※下4桁以下は切り捨てる）

① first author あるいは corresponding author (5年 I F) × 1.0

② second author (5年 I F) × 0.75

③ その他 (5年 I F) × 0.5

8. 別刷り1ページ目の上部余白に「3」の対応する番号を右詰めで記入する（手書き可）。

推薦書【A4版で1枚以内。推薦者は原本にサイン又は押印してください。】